

はほまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.37
2011.9



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取り組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

全漁連主催 販売事業コース研修会で事例紹介

<事例紹介をする伊藤常務理事>



全漁連主催の販売事業コース研修会が8月25日(木)～26日(金)に開催されました。

この研修会では、「これからの産地市場流通をどう考えるか」をテーマに、「大手量販店との直接取引の効果と課題」や、「高度衛生管理型市場施設の整備等による差別化、あるいは漁協主体の地域ブランド化の取組等の優良事例」等々について、東京海洋大学婁小波教授をコーディネーターとして5名の講師が講演しました。研修会には、全国の漁協や水産会社の幹部など、約70名が参加しました。

講師の一人として講演した歯舞漁協伊藤康彦常務理事は、「漁協主体の地域ブランド化と産地市場の活性化について」と題して、地域ブランド化について、取り組み内容や課題、効果等について事例を紹介しました。

また、26日午後からは千葉県流山市の(株)アビー研究所を視察。いま世界から注目されているパルス磁場を応用したCAS冷凍について見聞しました。

その後、同研究所であらかじめCAS冷凍した歯舞の一本立ちさんま、花咲ガニ、秋田県男鹿のホンマグロを解凍して試食し、家庭用冷凍のものとの味比べが行われました。試食の結果、参加者はCAS冷凍品を「おいしい」「みずみずしい」「凍結品を解凍したのにドリップがほとんど出ない」と高く評価。生のものとほとんど変わらない冷凍技術の高さに、参加者からは驚きの声があがりました。

CAS冷凍設備の導入については価格的に難しいものの、生鮮食品の近未来的な流通革命を予感させられた視察となりました。



<CAS冷凍設備の説明を受ける参加者ら>



<はほまい昆布しょうゆとともに、一本立ちさんまが試食されました>

札幌で歯舞水産物をPR 「わが村は美しくー北海道」運動

8月28日(日)北海道庁赤レンガ前広場で行われた「北のめぐみ愛食フェア」、及び9月3日(土)～4日(日)札幌駅前通り地下歩行空間で行われた「北海道観光キャンペーン『がんばろう!日本、がんばろう!北海道』」に歯舞地区マリンビジョン協議会が出店しました。



北海道道開発局が支援する「わが村は美しくー北海道」運動の一環で、地域の特産物を多くの人に知っていただき、その良さを実感してもらうことと、北海道観光の回復のために道内観光を広く道民や道外の観光客にアピールすることを目的に行われました。

この二つの催事に出店し、対面販売を通じて、地域活性化と歯舞産水産物のPR活動を実施しました。

北海道庁赤レンガ前広場で根室のサンマをPR

北海道庁赤レンガ前広場において、9月6日(火)～7日(水)の2日間、根室サンマや歯舞産水産物のPR販売を実施しました。根室市や根室水産食品PR販売促進会が行ったもので、市内4漁協の水産加工品なども即売しました。

炭火焼きサンマは、1尾100円で販売。6日はあいにくの雨模様にもかかわらず、昼休み時には道庁や近隣オフィスから大勢の人が訪れ、炭火焼きコーナーに行列ができる人気ぶりでした。また、サンマを箱売り(4キロ入)したほか、はぼまい昆布しょうゆなど各種コンブ製品も販売しました。

訪れたお客さんは、前日獲れたばかりの大きく脂の乗ったサンマに大満足の様子で、根室の美味しいサンマを直接アピールする絶好の機会となりました。



■ 編集・発行・お問い合わせ ■

■編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

■お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

